

# 福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

## ペガサス新横浜保育園

横浜市港北区新横浜 3-24-14

運営主体：社会福祉法人 山百合会

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4～5 ページ
分類別評価結果	6～16 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	17～24 ページ
利用者本人調査分析	25～26 ページ
事業者コメント	27 ページ

2009年3月18日公表

実施機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

## 実施概要

事業所名	ペガサス新横浜保育園（保育所）	
報告書作成日	2009年2月23日	評価に要した期間 7ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま	

## 評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間 08年8月1日～08年11月25日</p>	<p>8月1日の評価機関による説明、職員会議などを通じて、常勤職員・非常勤職員へ趣旨等を周知し、職員が個々に自己評価票を記入した。短時間、変則的な勤務時間の職員については、個々に説明をし、自己評価票に記入してもらった。</p> <p>クラスごとに各個人が記入したものをまとめ、その後3グループ（0・1歳児クラス、2・3歳児クラス、4・5歳児クラス）に分かれて話し合った。</p> <p>各グループの代表者、園長、主任で話し合い、確認し、最終的にまとめた。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間 08年11月4日～08年11月16日</p>	<p>全園児の保護者（66家族）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配布した。</p> <p>保護者より、返信用封筒で評価機関にあてて、無記名で返送してもらった。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日：第1日 08年12月11日 第2日 08年12月17日</p>	<p>[第1日]</p> <p>午前：各クラスで保育観察。公園への散歩にも同行。 昼食：3、4、5歳児クラスでそれぞれ園児と一緒にいただく。 午後：書類調査。園長・主任に面接調査。 夕方は降園の様子を観察。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。 昼食：2、5歳児クラスでそれぞれ園児と一緒にいただく。 午後：各クラスリーダー保育士6名、栄養士1名、非常勤職員1名、主任に個別に面接調査。 その後、理事・園長・主任・事務長に面接調査。 最後に書類調査も実施。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日：第1日 08年12月11日 第2日 08年12月17日</p>	<p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて行い、公園への散歩にも同行した。</p> <p>4、5歳児の子どもを中心に、観察調査の中で、また、昼食で同席した中で、聞き取り調査も適宜行った。</p>

## 総合評価（評価結果についての講評）

### 【ペガサス新横浜保育園】

#### 【施設の概要】

ペガサス新横浜保育園は、社会福祉法人山百合会（本部：横浜市緑区）により、2003年（平成15年）4月に、併設のペガサス夜間保育園と同時に開設されました。定員は0歳児から5歳児を対象に70名で、平日・土曜日とも7時から21時まで開所しています。保育理念“子ども達の笑顔と未来のために”、保育目標・姿勢“自分らしく自信をもって生きていく力の土台を作る”のもとに、日々の保育に取り組んでいます。法人は、1978年（昭和53年）3月に設立され、現在当園を含めて6園を運営しています。無認可保育所の時代を含めると、40年以上の保育の歴史があります。

当園は、JR・市営地下鉄「新横浜」駅から徒歩10分、オフィス街の一角にあり、行政機関や横浜アリーナ、マンションに囲まれています。付近にはよく整備された公園が多く、環境にも恵まれています。園舎は4階建て鉄筋コンクリートで、ペガサス夜間保育園との共有となっており、1階から3階を使用しています。1階には地域支援室があります。園庭は広くはありませんが、屋上には広いテラスを備えています。保育室はすべて東南に面し、広い窓の明るい造りになっています。

#### 高く評価できる点

##### 1、保育士たちは“子ども達の笑顔と未来のために”頑張っています

子どもたちは、明るく元気です。乳児クラスでは、子どもたちは保育士に見守られながら、ままごと、マグカップ、人形などで遊び込んでいます。幼児クラスはにぎやかです。テーブルを囲んで、折り紙、絵描き、トランプ、卓上ピアノに熱中します。また、グループとなって、ままごと、ミニカー、鉄道のおもちゃ、ブロックなどを楽しんでいます。

リズム遊びは、3～5歳児には大人気です。縦割りのグループに分かれ、ピアノに合わせて力いっぱい体を動かし、みんな生き生きとしてきます。全員一緒にやったり、年齢別にやったり、保育士はリズム遊びに変化をつけ、また集団に入れない子どもには、適度に声かけをしていました。

活発に動いている子どもたちですが、朝の集いや昼食前の集まりでは、保育士が手遊びや絵本を読み始めると、自然と保育士の前に行儀良く座り、手遊びをまね、絵本に聞き入ります。

天候が良ければ必ず散歩に出かけます。子どもたちでお互いに手をつないで行く道中、近くの掃除のおばさん、警備員のおじさんとあいさつを交わします。公園では、かけっこ、ボールけりなど運動量のある遊びに興じます。雨天時には、室内の巧技台で身体を動かします。運動会では、普段の運動の成果を披露して、お父さんお母さんを驚かせています。

また園では、給食を非常に大事にしています。献立、食器、テーブル・いすと楽しく食事ができるように配慮しています。3階のランチルームでの給食は、楽しそうな子どもたちの姿で満ちています。食育も大切にされていて、調理職員の協力を得て、ホットケーキ作りや果物の皮むき、ポップコーン作り、自分たちで取ってきた梅で梅ジュース作り、クッキー作り、年齢ごとに出来る作業をして共同で作るカレーパーティなどなど、さまざまな企画をしています。「お弁当メニュー」という企画では、子どもたちがランチルームでご飯をおにぎりにし、副菜も一緒にお弁当箱に詰めて、屋上や園外で食事をし、普段の給食とはまた違った楽しみを子どもたちに経験させています。これはクラス間の連携で、屋上やランチルームを有効に活用し、子どもたちの経験を広げるとともに、職員間の関係プレーを育てる効果もあります。

今回の第三者評価に伴う利用者家族アンケートでも、「遊び」「給食」に関しては、ほぼ100%の満足度

となっています。

保育士たちは、保育目標の中にある「子どもの身体づくりの為によりよい食事のあり方を目指します」「子どもの五感を大切に、生きる力の土台をつくります」を実践しているようにうかがえます。

## 2、園舎を活かして地域の子育て支援に貢献しています

園では、広い園舎を活かして、地域の子育て支援に努めています。港北区役所や港北区社会福祉協議会などと情報交換を行いながら、地域の子育て支援のニーズを把握し、園の特徴を活かした企画で子育て支援に取り組んでいます。

一時保育の登録者数は約 100 名で、毎月 30～40 名の子どもたちが園で過ごしています。毎週水曜日は園庭を開放しているほか、夏季には屋上の広いテラスを利用したプール開放も行っています。園庭開放・プール開放の際は、育児に関する相談も受けています。今年度は育児講座のテーマとして、リズム遊びを取り上げました。普段家庭ではできない遊びであり、大変好評でありました。

また、園舎の 2 階で開催する七夕や夏祭り、屋上のテラスでの焼き芋まつりには、地域の親子連れも参加して、園児たちとひとときを楽しんでいます。

保育園などの子育て支援施設が比較的少ない新横浜駅前の地域において、園の活動は大変意義深い活動になっていると考えられます。法人設立の原点である経営理念「女性が安心して子どもを産み育てられ、仕事と育児が両立できるような社会をつくりたい。そのような社会づくりに保育を通して貢献（支援）する」が実践されています。

なお、園舎内には地域支援室があり、子育て支援に備えていますが、まだ、十分に効果的な使い方には至っていない状況にあります。今後、地域の子育て支援グループなどとの情報交流などを通してニーズを把握し、さらなる子育て支援活動に取り組むことが期待されます。

### 工夫が望まれる点

#### さらなる保護者との情報交換の充実を

毎月の「園だより」「クラスだより」のほかに、延長保育に関する「えんちょうだより」も発行して、園の保育の様子を保護者へ伝えていきます。また、幼児も含めて全園児について、保護者との間で、連絡ノートによる個別の情報交換を行っています。保育士たちは、子どもの午睡の時間を利用して、薄暗い明かりの下で保護者へ伝える子どもの様子を記述しています。そして、送迎時には保護者との情報交換に努めています。

また、懇談会は年に 2 回、個人面談は年 1 回開催しており、気軽に話し合える茶話会も開催しています。夏祭り、運動会やお楽しみ会の後には、アンケートをとり、保護者から意見や希望を聞いて園の活動に反映させていきます。各クラスの保護者から 2 名ずつ役員を選出し、行事の際にお手伝いをしてもらう仕組みも作りました。園は、保護者との交流・連携の向上に努めているところです。

しかし、利用者家族アンケートにおいては、登降園時間や園児の発熱時（発熱後）の対応、送り迎えの際の子どもに関する説明、また、ケガに関する説明などに関して、保護者がより一層の配慮ある対応を求めている状況が見られます。

保護者との情報交換のあり方についてさらに検討し、職員間の話し合い・情報や意識の共有化も進めて、保護者との間でより緊密な信頼関係を築いていくことが望まれます。

## 評価領域ごとの特記事項

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って、記載しています。

### 【ペガサス新横浜保育園】

#### 1、人権の尊重

- ◇ 基本理念・方針として「子ども達の笑顔と未来のために」を掲げ、保育目標・保育姿勢を「自分らしく自信をもって生きていく力の土台を作る」として、日々の保育を実践しています。これらの理念・目標は、利用者本人（子どもたち）を尊重し、子どもの自主性・主体性を育むものになっています。
- ◇ 守秘義務に関しては、個人情報管理規程に基づき、職員に周知しています。また、職員会議で話し合い、認識を高めるようにしています。
- ◇ 虐待についての資料を全職員に配布し、周知しています。虐待が疑わしい場合や明白になった場合には、児童相談所と連携する体制があります。

#### 2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ◇ 遊具は子どもたちの年齢や発達に合わせて、準備されていて、子どもたちは自由遊びでは、ままごと、ブロック、絵本、粘土、折り紙、セロハンテープや紙類、はめ絵パズルなどなどに集中しています。また保育室には、さまざまなコーナーが設定され、子どもたちは思い思いに絵本を取り出してきたり、ミニカーを走らせたり、パズルボックスに集中したり、好きなコーナーで落ち着いて集中して遊んでいます。
- ◇ 全クラスに食育計画があり、年齢に応じて食材や調理への興味を持つように計画を立てています。例えば、調理前の野菜を見る、りんごなどを子どもたちの目の前で皮をむいてもらう、野菜を育てて成長の過程を見る、収穫の喜びを味わう、収穫した野菜を給食室でゆでてもらう、子どもたちで調理を楽しむなどを内容としています。

#### 3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 保育計画は、保育の基本理念・方針に基づき、地域の実態、周囲の環境を考慮して作成しています。
- ◇ 保護者からの要望や苦情等を受けて、迅速に対応できるように、苦情解決マニュアルを整備しています。また要望や苦情は、職員会議などでその都度話し合いを持ち、迅速に対応しています。
- ◇ 安全対策・事故対策マニュアルを整備して、安全点検のポイントや事故発生時の対応などを具体的に定め、日々の保育で実践しています。

#### 4、地域との交流・連携

- ◇ 地域の子育てを支援するためのサービスとして、一時保育、園庭開放やプール開放等を行っています。また、「七夕」「夏祭り」などには地域の子どもたちを招待しています。
- ◇ 園から地域住民へのお知らせは、保育園玄関前の掲示板、子育て支援拠点でのちらし配布、港北区役所が配信する「ココめ～る」などにより行っています。
- ◇ 日常の保育の中では、公園への散歩の際に地域の人々とあいさつを交わす、また、郵便局に手紙を出す経験を積ませるなど、子どもと地域との交流を図っています。

#### 5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ 保育園の理念や基本方針は明文化され、全職員に配布し、周知を図っています。また、系列6園で行う園内研修報告会において、理事長より理解を促すための説明を行っています。
- ◇ 組織および職員が不正・不適切な行為を行わないように、守るべき法・規範・倫理等を明文化し、職員に周知しています。

- ◇ 経営、運営状況等の情報は、系列 6 園で行う園内研修報告会において、職員に説明されています。また、運営状況などについては、利用者にも情報公開できる仕組みになっています。
- ◇ 次代の組織運営に備え、運営や保育サービスプロセスの新たな仕組みの検討、また、計画的な後継者育成に努めています。

## 6、職員の資質向上の促進

- ◇ 常勤・非常勤職員の研修体制が確立していて、系列 6 園で行われる園内研修、および外部の研修会・研究会等へ積極的に参加しています。また、研修の成果を職場で活かすために、研修の結果を研修報告書にとりまとめ、職員に回覧するとともに職員会議で報告しています。
- ◇ 経験・能力や習熟度に応じた役割が期待水準として明文化され、本人の適性・経験・能力に応じた役割が与えられています。
- ◇ 実習生受け入れのマニュアルがあり、主任が担当者となって受け入れています。

## 分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。








「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

### 評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本理念・方針として「子ども達の笑顔と未来のために」を掲げ、保育目標・保育姿勢を「自分らしく自信をもって生きていく力の土台を作る」として日々の保育を実践しています。これらの基本理念・基本方針、保育目標・姿勢は、利用者本人（子どもたち）を尊重したものになっています。基本理念・方針は明文化され、全職員に配布し周知しています。</li> <li>保育計画は、保育の基本方針に基づき、保護者の実状、地域の実態、周囲の環境を考慮して作成しています。</li> <li>保育計画に基づき、年齢ごとの指導計画を作成しています。また、日常の保育を通して子どもの意見や意思をくみ取る努力をし、指導計画に反映させています。</li> </ul>
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>入園前には保護者や子どもと面接を行い、子どもの発達状況や課題を把握しています。</li> <li>入園までの生育暦や家庭での状況を保護者から提出してもらい、日々の保育に活かしています。</li> <li>新入園児の受け入れ時には、短縮保育（ならし保育）について説明しています。また新入園児に対しては、個別に主担当保育士を決めるなどの配慮を行っています。</li> <li>子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しています。また、指導計画の評価・改訂にあたっては、保護者との日常的な意見交換や行事の後の保護者アンケートなどを反映させています。</li> </ul>

<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園内は、子どもが快適に過ごせるような環境（清潔さ、採光、換気、照明等）となるように配慮しています。</li> <li>・ 保育園の屋内・外とも、常に清掃を行い清潔に保っています。</li> <li>・ 保育室は冷暖房装置、換気装置、加湿装置が備えられ、適正な温度・湿度を維持しています。また、園舎は南に面していて、十分な陽光が入っています。陽光がきついときには、レースのカーテンや遮光カーテンを引いて子どもたちが過ごしやすいように工夫しています。</li> <li>・ 沐浴設備、シャワー設備が備えられ、チェックシートに基づいて、掃除を行い清潔に努めています。</li> <li>・ 保育マットや畳を活用したコーナー、サークルで囲ったスペース、収納棚の下を空けるなどにより小集団保育が行える環境を確保しています。</li> <li>・ 異年齢時間の交流としては、日々の登降園時間帯のほか、3～5歳は週2回縦割り保育を行い、リズム遊びなどを取り入れています。</li> </ul>
<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども一人ひとりの状況に応じて保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しています。また、子どもの発達状況に合わせて、個別指導計画を柔軟に変更・見直しています。</li> <li>・ 子ども一人ひとりの発達の段階に応じた記録類を整備、保管しています。</li> <li>・ 子どもにかかわる個別の記録内容は、全職員が共有できる仕組みになっています。なお、これらの子どもにかかわる個別の書類は、鍵の付いたロッカーに保管しています。</li> </ul>
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育をする上で必要な情報は、職員間で共有しています。</li> <li>・ 外部研修、園内研修などを通して学習した、配慮を要する子どもの受け入れについての最新情報は、職員会議等を通して職員間で共有し、日々の保育に活かしています。</li> <li>・ 障がいの特性を考慮した個別指導計画を作成しています。障がい児保育については、全職員で学習し話し合える体制をつくっています。また、法人として障がい児部会を設けて、広く勉強会・研究会を持っています。</li> <li>・ アレルギー疾患のある子どもについては、保護者との密接な連携をとって、除去食・代替食を提供しています。</li> <li>・ 外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対しては、遊びや行動の面において配慮しています。また、保護者との意思疎通においても適切に対応するよう努めています。</li> </ul>




## - 6 苦情解決体制



- ・ 保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすいように、「園のしおり」で第三者委員の氏名・連絡先を伝え、また、玄関に意見箱を設置しています。
- ・ 保護者懇談会、個人面談、行事の際のアンケート等を通して、保護者の要望や苦情を聞ける仕組みを作っています。
- ・ 要望や苦情等を受けて迅速に対応できるように、苦情解決マニュアルを整備しています。また、保護者からの要望や苦情は、その都度、職員会議などで話し合いを持ち迅速に対応しています。
- ・ なお、過去の苦情に関して、第三者委員に連絡のあったものは、「園のしおり」に記載し保護者へも紹介しています。

## 評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="161 392 472 427">- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育室は畳のコーナーを作っているのので、座り込んで遊ぶこともできます。自由に遊ぶ時間には、乳児は各クラスのコーナーで遊んでいます。幼児のクラスは大きな部屋をロッカーで区切っているだけなので、各クラスでコーナーを作りますが、子どもたちはクラスを超えて、どのコーナーへも自由に行き遊んでいます。</li> <li>・ ままごと、ブロック、絵本、粘土、折り紙、セロハンテープや紙類、はめ絵パズルなどなど、さまざまなコーナーが設定され、子どもたちは好きなコーナーで落ち着いて集中して遊んでいます</li> <li>・ 紙類は特に子どもの発想をふくらませる材料で、空き箱、色画用紙のはぎれ、トイレットペーパーの芯、牛乳パックなど、さまざまな素材が用意しており、自由な発想を表現して夢中になって製作物を作っている姿が見られました。</li> <li>・ 次の行動に移る時間になった場合は、製作途中のものはロッカーの上などに置いておき、別の時間に続けて取り組めるようにしています。</li> <li>・ 天気の悪くない日は、積極的に全クラスが散歩に出かけています。近くにさまざまな公園や川沿いの土手などがあり、十分に自然と触れ合うことができます。散歩の目的地は13ヶ所あり、お散歩マップを作り、写真を入れ、特徴を書いたりもしています。これは玄関の近くにも掲示しており、保護者もいつでも見ることができます。</li> <li>・ ルールのある遊びとして、例えば「しっぽ取りゲーム」は、3歳児ではしっぽを取るだけですが、年齢が高くなると少しずつルールを複雑にしています。保育士は子どもたちの遊びが発展するように、言葉をかけたり、鬼役になって盛り上げたりもしています。</li> <li>・ 天気が悪く園内で遊ぶ場合も、保育室に巧技台や跳び箱、マットなどを年齢に合わせて設定して運動遊びをしたり、0歳児クラスでは階段の上り下りで足腰をきたえたりしています。その他、週1回、幼児合同で縦割りグループになって、リズム遊びをする日があり、汗をかいて十分に体を動かし、柔軟な体作りにも役立っています。</li> <li>・ 異年齢児間の交流は、部屋の造りからいっても日常的に自然に行われています。2～5歳児の部屋は大きなワンフロアをロッカーなどで区切っているだけで、0、1歳児の部屋もワンフロアを低い仕切りで区切ってそれぞれの保育室にしているので、朝などは一緒に遊んでいます。また幼児は行事などのない時期には、水曜日は縦割りの散歩、木曜日は縦割りのリズム遊びの日とするなど、異年齢児交流の機会を多く作っています。</li> <li>・ 0歳児から5歳児まで、年齢ごとの食育計画があり、保育計画に組み込んでいます。イチゴ、インゲン豆、さやえんどう、キュウリ、じゃが芋などの栽培、観察画、収穫、クッキング保育などと、各クラスとも計画的に行っています。</li> </ul>

## - 1 保育内容[生活]



- ・ 食事の時間、保育士はできるだけ子どもたちが給食を全部食べるように指導していますが、強要することはありません。嫌いなものは減らしてあげたり、一口だけでも口に入れるように勧めたりしています。
- ・ 子どもが自分から食べようとする意欲を大切にするために、「自分で茶碗などに適量をよそう」ということを年齢に応じて実践しています。4歳児クラスは昨年度のクラスでは一部を子どもがよそいましたが、今年度のクラスでは子どもたちの様子を見て、全部子どもが自分でよそうことにしました。スープをよそうお玉などは、子どもが無理なく使えるように、軽量の小さめのものを用意しています。また3歳児クラスでは、ご飯が残ってしまう子どもに、小さいおにぎりにしてあげたり、丼物のようにアレンジしてあげたりして、食べたいという意欲が持てるように工夫している様子が見られました。
- ・ 全クラスに食育計画があり、年齢に応じて食材や調理への興味を持つように計画を立てています。例えば、調理前の野菜を見る、りんごなどを子どもたちの目の前で皮をむいてもらう、野菜を育てて成長の過程を見る、収穫の喜びを味わう、収穫した野菜を給食室でゆでてもらう、子どもたちで調理を楽しむなどを内容としています。
- ・ 給食は旬の食材を多く使った献立にしています。七夕、節分、ひな祭りなど、日本伝統の行事食も大事にしています。また、バイキング形式を取り入れたり、お弁当箱に詰めてお弁当給食にして園外で食べるというアイデアを取り入れたりして、子どもたちの食欲を促す試みをしています。
- ・ 残食は給食日誌に記録して、残食量の多いものは法人の給食部会で話し合い、改善しています。
- ・ 「もぐもぐぱくぱく」という給食だよりを出していて、レシピの欄もあり、定期的に人気メニューやお勧めメニューを保護者に紹介しています。春は「春野菜のポトフ」、夏は「フルーツフロゼンヨーグルト」、秋は「鯖の味噌だれ」などです。
- ・ 1年に1回、茶話会式の懇談会を行っています。クラスごとに給食を3品ほど用意して、保護者に試食してもらい、その際メニューのレシピも配布します。それを家で作ってみた、と連絡帳に書いてくる保護者も多くいます。
- ・ 眠くない子どもに午睡を強要はしませんが、体を休めるために、しばらくは静かに横になるようにしています。その後は室内で、保育士のそばで静かに遊ぶこともあります。
- ・ 5歳児は、午睡が必要な子どももいるので午睡をやめることはしませんが、年度後半から大部分の子どもは早めに起こし、静かに遊ぶようにしています。
- ・ 排泄は、その子どものリズムを大切にして個人差を尊重しています。乳児ではトイレトレーニングをしながら、オムツがぬれなくなってきたところを見計らって、個別にはずすようにしています。幼児では、自分の行きたいときにトイレに行っています。

- 2 健康管理・衛生管理・  
安全管理 [健康管理]



- ・健康管理マニュアルに、毎日の観察や視診のときのポイントなどが詳しく書かれていて、それに従って日々子どもたちの健康状態を把握するようにしています。
- ・食後の歯磨きは、0～2歳児は保育士が仕上げ磨きをしています。幼児には「歯磨きの仕方カード」を使って、磨き残しのないように指導しています。歯科健診時に、虫歯予防のアドバイスも受けています。
- ・子ども一人ひとりの健康台帳があり、健康診断・歯科健診の記録がまとめられています。健康診断の前には保護者に日時を知らせ、園医に対する質問があれば出してもらっています。健康診断の結果を渡す際に、園医からの答えも知らせています。
- ・感染症が発生した場合は、掲示板とクラスの保護者用コーナーで、保護者に情報を提供します。園で保育中に感染症の疑いが生じた場合には、まず子どもを別室に移して消毒などを行い、保護者に電話で連絡します。すぐに来られない場合には別室で保育士が付き添い、待機します。また、病児保育をしている保育園を紹介することもあります。

- 2 健康管理・衛生管理・  
安全管理 [衛生管理]





- ・衛生管理マニュアルは、職員会議で内容の理解を確認しています。見直しは法人の看護師部会で行っていますが、園でも必要に応じて（感染症が流行したときなど）見直しています。
- ・清掃については、清掃手順、チェック表を作成して必要な個所に置き、誰でも見られるようにしています。保育室の清掃は職員が順番に当番になり、原則として1日4回、トイレは2回行い、チェック表に書き込みます。さらにリーダーや主任が確実にに行われているかを確認しています。



- 2 健康管理・衛生管理・  
安全管理 [安全管理]






- ・「保育の安全対策、事故対策マニュアル」を作成していて、安全点検のポイントや事故発生時の対応などが具体的に決められています。
- ・地震対策としては、棚などは突っ張り棒、小さいロッカーは両面テープで固定し、大きいものは床止めをしたり、ロッカー同士をつないだりしています。
- ・防災訓練は毎月行い、さまざまな時間帯、さまざまな想定で行っています。訓練を行うときに保護者がいる場合には、保護者にも参加してもらっています。また、年に2回総合防災訓練を行っていて、広域避難場所への誘導訓練もしています。
- ・子どものケガに関しては、少しでも傷の残るものは園日誌に記録し、必ず保護者に報告しています。病院に行ったケガについては、事故報告書を残しています。また、ケガがあったときはその都度職員間の「連絡ノート」にも記録して、申し送りができるようにしています。
- ・不審者防止対策として、門と玄関は電子ロックにしています。門や園舎裏など4ヶ所に防犯カメラを設置しています。また、園舎の構造的に、外から入ってくる人の姿が事務所から見えます。行事などでは、保護者にリボンをつけてもらい、部外者が入れないようにして

	<p>います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者対応マニュアルを事務室や保育室に備え、緊急時のための関連機関が一覧表にしてあります。</li> </ul>
<p>- 3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの人格や自尊心を傷つけるような保育を行ってはならないことを、職員で話し合ったり、主任が注意したりしています。</li> <li>・保育室の押入れの下に物を置かず空スペースにしておいて、子どもたち好みの隠れ場になっています。また、ダンボールの「お家」も隠れ家的コーナーになっています。</li> <li>・子どもと1対1で話し合える場所としては、普段使用していない地域支援室や図書コーナーを使うことができます。</li> <li>・守秘義務に関しては職員会議で周知しています。実習生やボランティアの人には、「園のしおり」や「心構え」を使って説明しています。</li> <li>・虐待の定義については、園長が研修でもらってきた資料を分かりやすく作り直して、全職員に配布しました。また、市の虐待に関する研修に職員も参加しています。</li> <li>・順番や服装などについて、保育士が指示して男女の区別をしていることはありません。</li> </ul>
<p>- 4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の基本方針について、保護者に対して、入園時には説明会で、その後は新年度説明会や懇談会で説明しています。</li> <li>・年1回保護者と個別面談を行い、年に2回保護者懇談会を行っています。懇談会に出席できなかった保護者に対しては、プリントを配布し、口頭でも知らせています。また、毎年度末に茶話会を開いて、一年間の子どもたちの様子をビデオで見てもらっています。</li> <li>・毎月「園だより」「クラスだより」を発行して、クラスの様子を伝えています。その他「給食だより」「保健だより」「延長だより（延長保育の子どもたちの様子を知らせたり、夕食の人気メニューのレシピを紹介したりもしています）」も毎月発行して園の様子を知らせるとともに、食や健康に関する情報も提供しています。</li> <li>・保護者からの相談の場合、必要に応じて地域支援室や図書コーナーを使用して、ほかの人に聞かれないように配慮しています。</li> <li>・保育参加を随時受け入れ、年度当初に積極的に勧めています。去年は10組ほどの参加がありました。</li> <li>・保護者会はまだできていませんが、各クラスの保護者に役員が2名ずつついて、クラスの代表として園と連携し、行事のときなどに手伝っています。しかし家族アンケートの結果では、園との話し合いを望む声が多くありました。今後とも、保護者との意見交換の機会をできるだけ多く作ることが望まれます。</li> </ul>




## 評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育児講座におけるアンケート、園庭開放やプール開放、および一時保育などを通して、地域の子育て支援のニーズに関する情報を入手しています。</li> <li>・ また、地域の子育て支援に関して、港北区サービス課および港北区社会福祉協議会保育分科会などと情報交換を行っています。</li> <li>・ 地域の子育てを支援するためのサービスとして、施設の専門性を活かして、一時保育、園庭開放やプール開放等を行っています。</li> </ul>
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園から地域住民へのお知らせは、保育園玄関前の掲示板、子育て支援拠点でのちらし配布、港北区役所が配信する「ココめ～る」などにより行っています。</li> <li>・ 現在、定期的な事業としては、育児相談は行っていません。</li> <li>・ 相談内容に応じては、港北区サービス課やこども青少年局保育運営課および港北区社会福祉協議会などの関係諸機関・団体との連携ができる体制になっています。</li> </ul>

## 評価領域 開かれた運営




評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の行事である「七夕」「夏祭り」「焼き芋」などに地域の子もたちを招待するなど、保育園に対する理解促進のための取り組みを行っています。</li> <li>散歩の際には近隣の人々とあいさつを交わす、郵便局に手紙を出す経験を積ませるなど、子どもと地域との交流を図り、子どもの生活の充実に努めています。</li> <li>近隣の学童保育所で行う行事のちらしや、町内のお祭りのポスターを園内に掲示しています。</li> </ul>
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>園のパンフレット、法人のホームページ、横浜市こども青少年局のホームページ等により、将来の利用者が関心のある事項について、地域や関係機関に情報を提供しています。</li> <li>利用希望者の問い合わせにはパンフレットなどを使って、園長・主任が窓口となって対応しています。</li> <li>利用希望者の園内見学については、保育に支障をきたさない範囲で柔軟に対応しています。</li> </ul>
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア・実習生の受け入れは、マニュアルに基づき行っています。ボランティア・実習生には、事前にオリエンテーションを行い、園の方針、子どもへの配慮等を説明しています。</li> <li>ボランティアのためのプログラムを作成し、終了時には話し合う機会を設け、感想などを聞いています。</li> <li>実習生の受け入れは園長・主任が窓口となり進め、実習内容によってはクラス担任が実習生を担当しています。</li> <li>また、実習目的に応じた効果的な実習が行われるように、実習依頼校からの計画書に沿って、プログラム等を工夫しています。実習の最後に反省会を行い、実習生の気付きや感想を聞いています。</li> </ul>

## 評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園運営に十分な人材構成であるかをチェックして、職員の補充を行うとともに、保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っています。</li> <li>・ 常勤・非常勤職員の研修体制が確立していて、園内研修、および園外の研修会・研究会等へ積極的に参加しています。また、研修の成果を職場で活かすために、研修の結果を研修報告書にとりまとめ、職員に回覧するとともに職員会議で報告しています。</li> <li>・ 非常勤職員にも業務マニュアルなどの文書を配布するとともに、外部研修への参加をすすめることや、園内研修への参画など、職員と同様の資質向上へ向けた取り組みを行っています。</li> </ul>
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員会議、リーダー会議、乳幼児会議などにおける保育についての議論を通して、個々の職員はスキルの問題としてとらえ、自己評価を行い、保育技術の向上に取り組んでいます。</li> <li>・ 横浜市総合リハビリテーションセンターの巡回指導を受けるなど、外部から保育の技術の評価・指導等を受ける仕組みがあります。</li> </ul>
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経験・能力や習熟度に応じた役割が期待水準として明文化され、本人の適性・経験・能力に応じた役割が与えられ、職員のやりがいや満足度を高めています。</li> <li>・ 職員会議、リーダー会議等を通して、また普段のコミュニケーションの中から示される職員からの業務改善提案などは、日々の業務に活かしています。</li> <li>・ 園長は、個人面談を通して、職員の満足度・要望などを把握しています。</li> </ul>



## 評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織および職員が不正・不適切な行為を行わないように、守るべき法・規範・倫理等を明文化し、職員に周知しています。</li> <li>・ ゴミの分別を行う、牛乳パックにより遊具を製作するなど、ゴミ減量化・リサイクルのための取り組みを行っています。</li> <li>・ また、節電に努める、水道の蛇口は完全に閉めるなどの省エネルギーに取り組んでいます。</li> <li>・ 環境に配慮した活動を実践していますが、環境への考え方、取り組みは明文化していません。</li> </ul>
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園の理念や基本方針は明文化され、全職員に配布し周知を図っています。また、系列6園で行う園内研修報告会において、理事長より職員の理解を促すための説明を行っています。</li> <li>・ 園長は、重要な意思決定にあたっては、保護者懇談会などを通して、保護者と意見交換を行っています。</li> <li>・ 主任は、報告書等の閲覧、各種会議への参画、職員勤務表の作成などを通して、職員の業務状況を把握して、個々の職員の能力や経験にあわせた的確な助言や指導を行っています。</li> <li>・ また主任は、職員との日々の話し合いを通して、個々の職員が精神的・肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるように、勤務のローテーションを配慮するなど、いつでも支援できる体制をとっています。</li> </ul>
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園長は、系列6園の園長会、港北区や港北区社会福祉協議会の園長会、私立保育園の園長会などを通して、事業運営に影響のある情報を収集・分析しています。</li> <li>・ 園長は、運営面での重要な改善課題については、職員に周知し、園全体の取り組みとしています。</li> <li>・ 法人として、保育園運営に関しての中長期的な計画や目標を策定しています。</li> <li>・ また、次代の組織運営に備えて、運営や保育サービスプロセスの新たな仕組みを検討し、計画的な後継者育成に努めています。</li> </ul>

## 利用者（園児）家族アンケート 分析

### 【ペガサス新横浜保育園】

- 1、実施期間 2008年11月4日～11月16日
- 2、実施方法 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。  
各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 約54.5%（66枚配付、36枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...3人、1歳児クラス...7人、2歳児クラス...6人、3歳児クラス...6人、  
4歳児クラス...9人、5歳児クラス...5人

ただし同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

文中の「満足度」とは、「満足」と「どちらかといえば満足」の回答を合わせた数値、  
「不満」とは、「不満」と「どちらかといえば不満」の回答を合わせた数値です。

#### 設問ごとの特徴

##### 【問1】保育園の基本理念や基本方針について

61%の保護者が「よく知っている」「まあ知っている」と答えています。「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者のうち95%が、“保育目標や保育方針に賛同できる”と答えています。自由記入欄では、「食育」に賛同する意見が複数ありました。

##### 【問2】入園時の状況について

「一日の過ごし方についての説明」が92%の満足度でした。「見学の受け入れ」「園からの情報提供」「園の目標や方針についての説明」「子どもの様子や生育歴を聞く対応」はそれぞれ80%前後の満足度ですが、自由記入欄では“説明が不十分”“一度にたくさんのお話があってとらえきれなかった”などの声もありました。「費用やきまりに関する説明」は25%の不満がありました。

##### 【問3】年間の計画について

2つの項目「年間の保育や行事についての説明」「保護者の要望が活かされているか」とも、80%台後半の満足度です。自由記入欄では、“年間の予定で日程も分かるのでとても助かる”という声が多くある一方、“行事の内容や、保護者が用意するものを、もっと早く教えてほしい”という意見もありました。

##### 【問4】日常の保育内容「遊び」「生活」について

遊びについては、「クラスの活動や遊び」「おもちゃなどが年齢にふさわしく、自由に使えるか」「遊びを通しての友だちや保育者との関わり」の3項目が97%の満足度です。「戸外遊びを十分しているか」「自然に触れたり地域に関わるなどの園外活動」は94%、もう1つの「健康づくりへの取り組み」が89%の満足度でした。多くの保護者が外遊びや泥遊び、水遊びに満足しています。“体力づくりをしてくれてとても良い”という声も複数ありました。一方、「地域との関わり」で、“老人ホームと交流する機会を作ってほしい”という希望が複数ありました。

生活については、「給食の献立内容」「基本的な生活習慣の自立への取り組み」が100%の満足度です。「子どもが給食を楽しんでいるか」も97%の満足度、「子どもの体調への気配り」は89%の満足度でした。自由記入欄では、“給食がおいしい”“生活習慣をしっかりとってくれる”という声がありました。しかし、「保育中のケガに関する説明や対応」は約20%の不満があります。“ケガの説明が不十分”という声も複数ありました。

#### 【問5】快適さや安全対策などについて

「外部からの不審者侵入を防ぐ対策」「感染症に関する情報提供」については100%、「施設設備」「落ち着いて過ごせる雰囲気」についても90%以上の満足度でした。自由記入欄でも“セキュリティの面では安心”“いつも清潔”という声が多くありました。

#### 【問6】園と保護者との連携・交流について

「懇談会などの話し合いの機会」「園の様子や行事に関する情報提供」「園の行事の開催日や時間帯」「保護者からの相談事への対応」については80%台後半の満足度、「送り迎えの際の情報交換」「子どもに関する重要な情報の連絡体制」が80%台前半の満足度です。「お迎えの時間に対する柔軟な対応」は不満が25%でした。自由記入欄には、“体調の悪いときの対応がよかった”という声がある反面、“交通事情などによる送迎の遅れへの対応に不満”の声があり、また“職員によって言うことが違う”“年齢が高くなると子どもの様子をあまり伝えてくれない”などの意見もありました。

#### 【問7】職員の対応について

「子どもが大切にされているか」「子どもが保育園生活を楽しんでいるか」は97%、「話しやすい雰囲気・態度」は92%の満足度です。「意見や要望への対応」「アレルギーや障がいのある子どもへの対応」が80%強の満足度でした。自由記入欄の大半は“よくやってくれる、大切にしてくれる”というものです。“担任以外の先生も声をかけてくれる、名前を知ってしてくれる”“個性に応じて対応してくれる”というような感謝の声も多くありました。

#### 【問8】保育園を総合的に評価すると

94%の満足度です。そのうち「満足」が61%、「どちらかといえば満足」が33%です。「どちらかといえば不満」が3%で、「不満」はありませんでした。

#### 【問9】園への要望など

何人もの保護者に共通していた要望として、“職員の入替わりを積極的に知らせてほしい”ということがあります。“新しい先生は名札などをつけてほしい”という意見もありました。また、登降園に関して“発熱した翌日の登園の取り扱いに関する園のきまりを緩和してほしい”“朝、通院した後の登園を認めてほしい”というものも複数ありました。

#### まとめ

- ◇ 問2以降の質問全38項目のうち、保護者の全員、あるいは全員に近い人が「満足」「どちらかといえば満足」と答えているものが10項目あります。「クラスの活動や遊び」「おもちゃや教材」「遊びを通しての友だちや保育者との関わり」「給食の献立内容」「子どもが給食を楽しんでいるか」「基本的生活習慣の自立への取り組み」「不審者侵入への対策」「感染症の情報」「子どもが大切にされているか」「子どもが保育園を楽しんでいるか」です。中でも、「給食の献立内容」「子どもが給食を楽しんでいるか」は、「満足」だけでも86%という高い数値が示されています。
- ◇ 一方、不満が20%以上だったのは、問2の「費用やきまりに関する説明」と問6の「お迎えの時間に対する柔軟な対応」で、どちらも不満が25%ありました。次いで多かったのは、「ケガについての説明」「昼寝や休憩が子どもの状況に応じて対応されているか」「送り迎えの際の情報交換」で、15~20%の不満がありました。自由記述もそれらに関する声が多く、意見や要望も寄せられていました。
- ◇ しかし、総合的な評価では、「不満」はなく、「どちらかといえば不満」も3%で、大半の保護者は満足しています。保護者とのより丁寧な意見交換によって理解し合い、さらにきめ細かい保護者との関係が築かれることが望まれます。

## 利用者（園児）家族アンケート集計結果

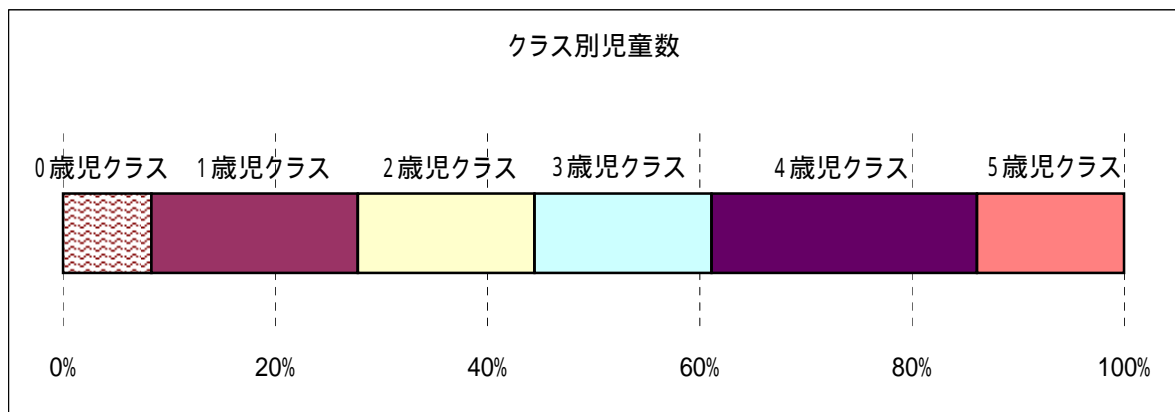
実施期間： 2008年 11月4日～11月16日

回収率： 54.5% （回収36枚 / 配布66枚）

### 【属性】

クラス別児童数							(人)
合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
36	3	7	6	6	9	5	0

同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて記入



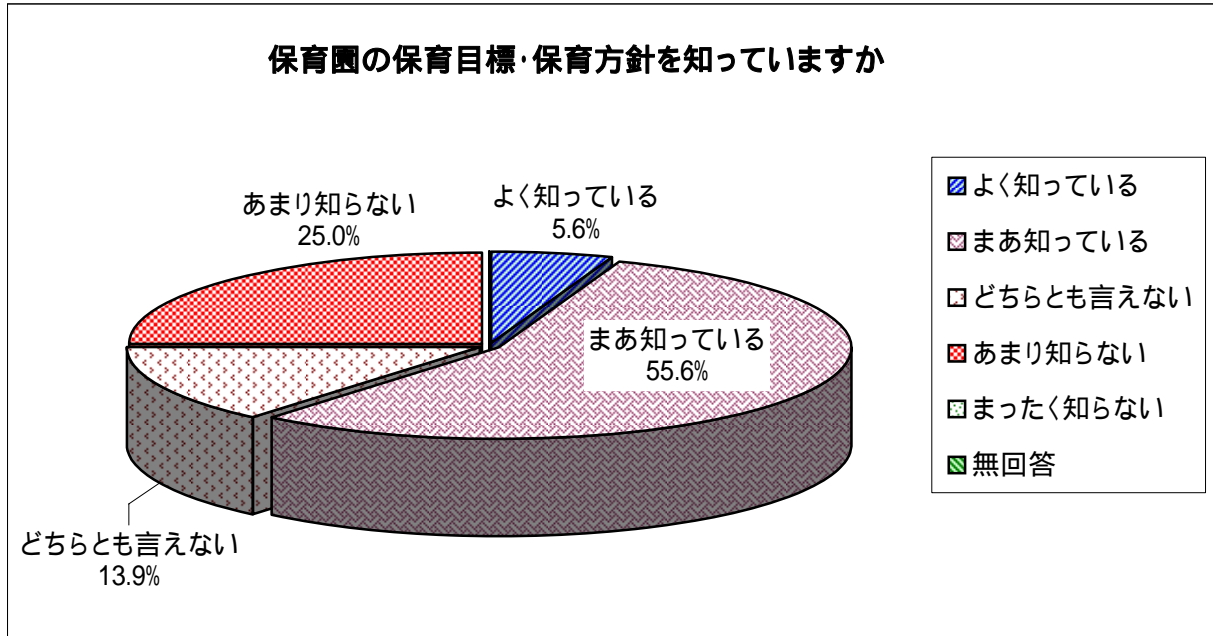
保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	5.6	55.6	13.9	25.0	0.0	0.0	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

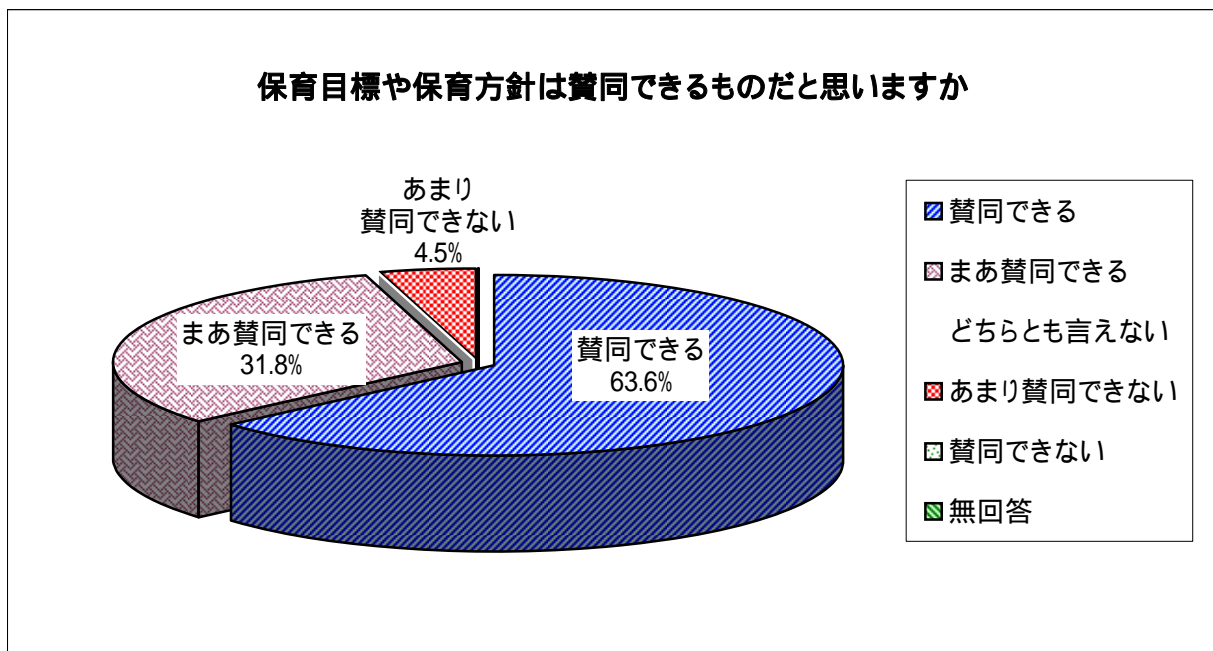


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	63.6	31.8	0.0	4.5	0.0	0.0	100



## 保育園のサービス内容について

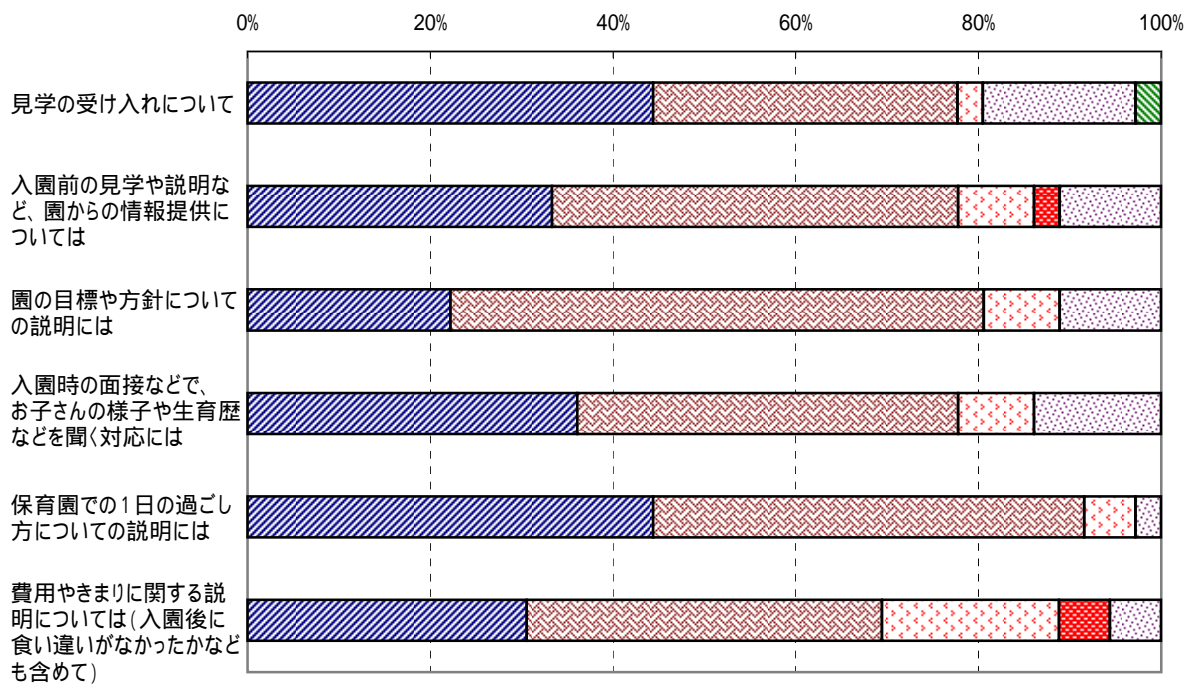
### 問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	44.4	33.3	2.8	0.0	16.7	2.8	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	33.3	44.4	8.3	2.8	11.1	0.0	100
園の目標や方針についての説明には	22.2	58.3	8.3	0.0	11.1	0.0	100
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	36.1	41.7	8.3	0.0	13.9	0.0	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	44.4	47.2	5.6	0.0	2.8	0.0	100
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	30.6	38.9	19.4	5.6	5.6	0.0	100

#### 入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



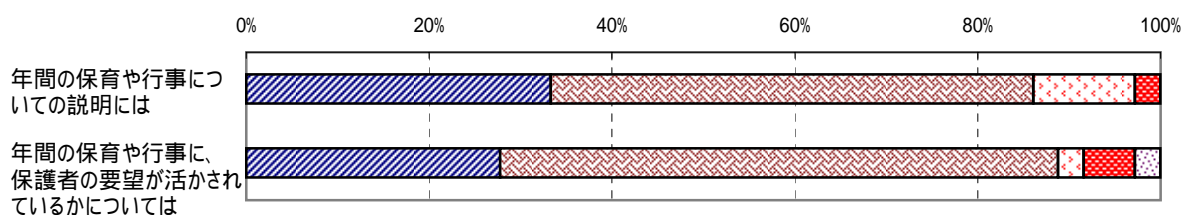
### 問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	33.3	52.8	11.1	2.8	0.0	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	27.8	61.1	2.8	5.6	2.8	0.0	100

#### 年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

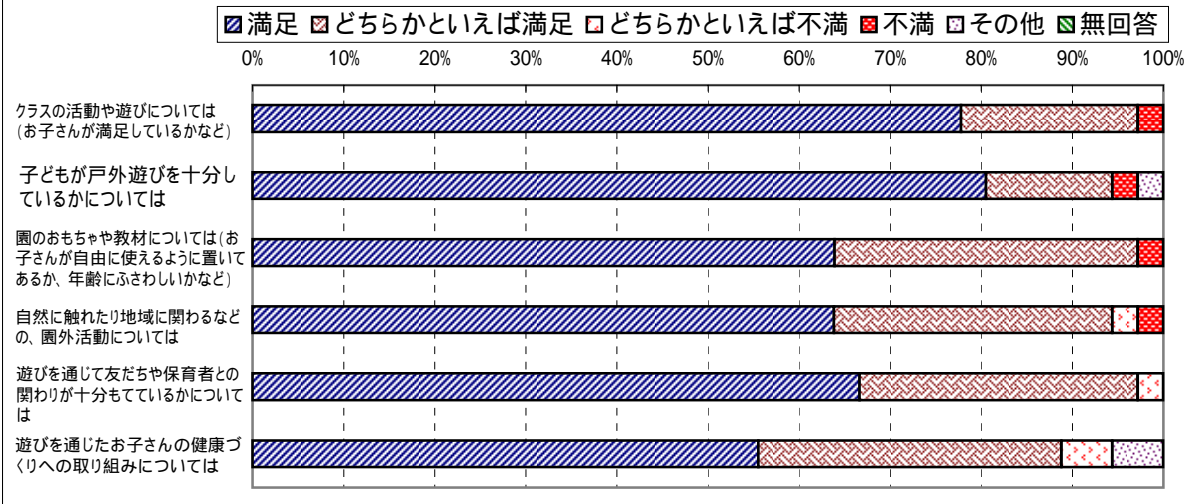


問4 日常の保育内容について

(%)

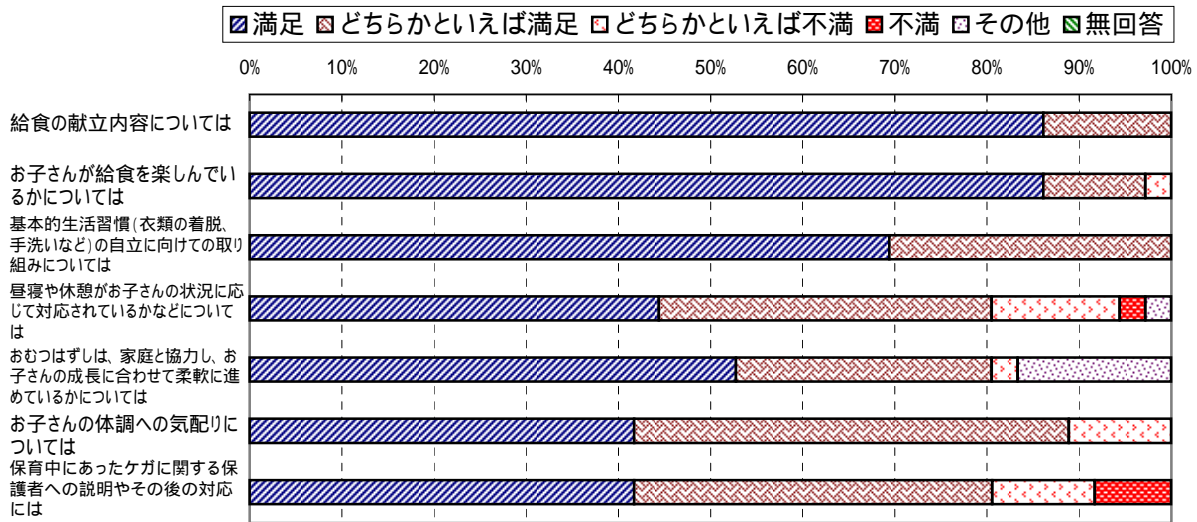
「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	77.8	19.4	0.0	2.8	0.0	0.0	100
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	80.6	13.9	0.0	2.8	2.8	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	63.9	33.3	0.0	2.8	0.0	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	63.9	30.6	2.8	2.8	0.0	0.0	100
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	66.7	30.6	2.8	0.0	0.0	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	55.6	33.3	5.6	0.0	5.6	0.0	100

日常の保育内容「遊び」について



「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	86.1	13.9	0.0	0.0	0.0	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	86.1	11.1	2.8	0.0	0.0	0.0	100
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	69.4	30.6	0.0	0.0	0.0	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	44.4	36.1	13.9	2.8	2.8	0.0	100
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	52.8	27.8	2.8	0.0	16.7	0.0	100
お子さんの体調への気配りについては	41.7	47.2	11.1	0.0	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	41.7	38.9	11.1	8.3	0.0	0.0	100

日常の保育内容「生活」について



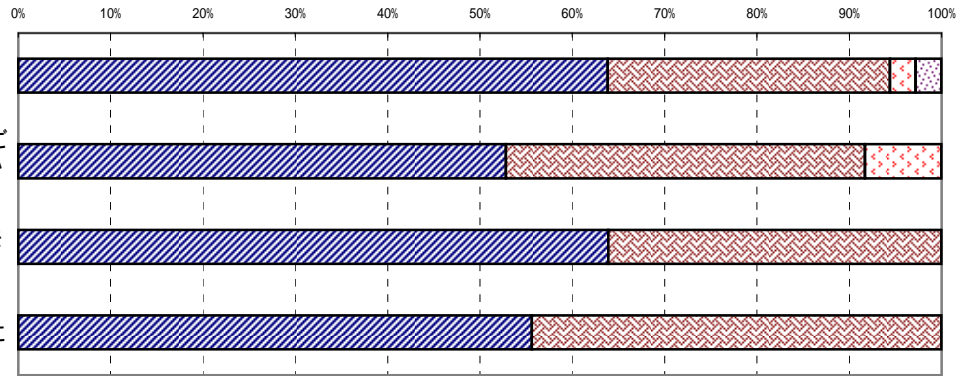
問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	63.9	30.6	2.8	0.0	2.8	0.0	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	52.8	38.9	8.3	0.0	0.0	0.0	100
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	63.9	36.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	55.6	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	100

快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



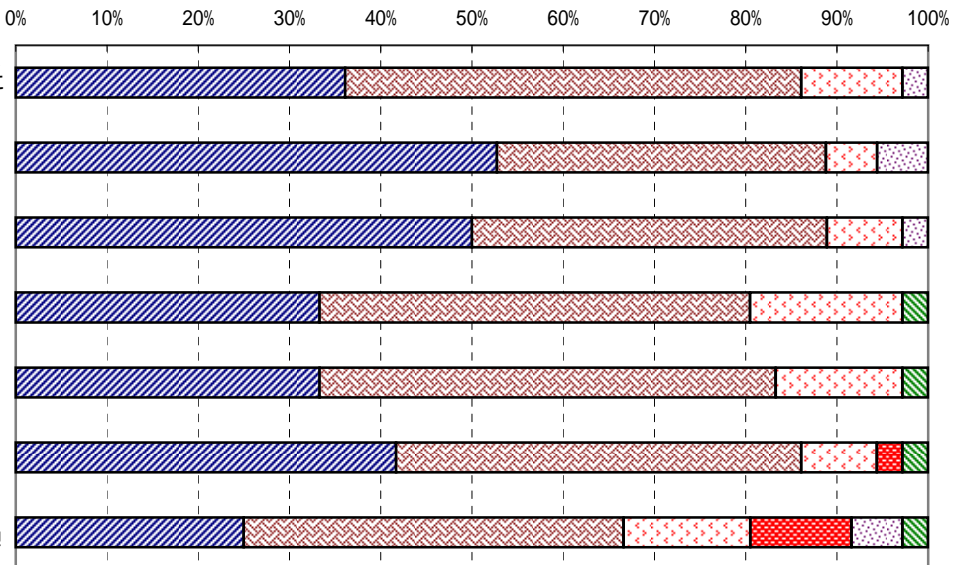
問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	36.1	50.0	11.1	0.0	2.8	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	52.8	36.1	5.6	0.0	5.6	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	50.0	38.9	8.3	0.0	2.8	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	33.3	47.2	16.7	0.0	0.0	2.8	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	33.3	50.0	13.9	0.0	0.0	2.8	100
保護者からの相談事への対応には	41.7	44.4	8.3	2.8	0.0	2.8	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	25.0	41.7	13.9	11.1	5.6	2.8	100

園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答





問7 職員の対応について

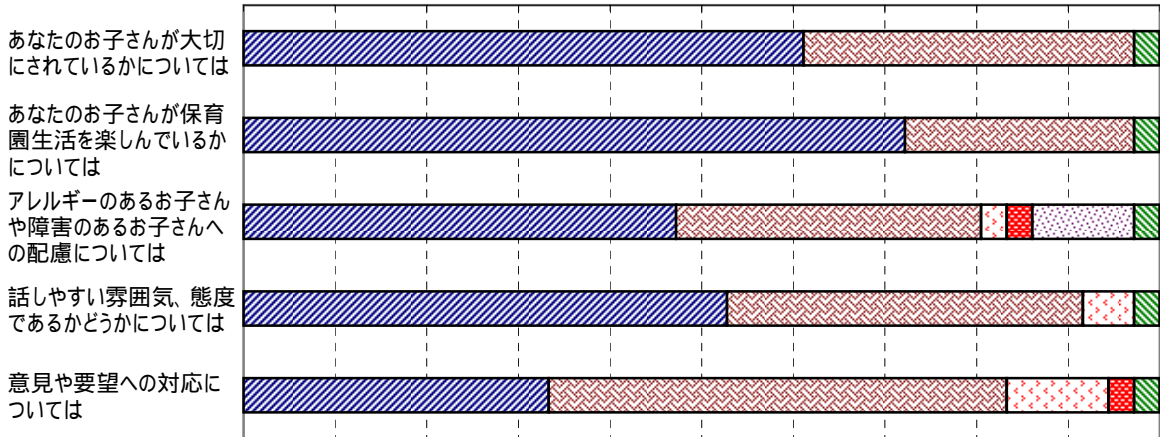
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	61.1	36.1	0.0	0.0	0.0	2.8	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	72.2	25.0	0.0	0.0	0.0	2.8	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	47.2	33.3	2.8	2.8	11.1	2.8	100
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	52.8	38.9	5.6	0.0	0.0	2.8	100
意見や要望への対応については	33.3	50.0	11.1	2.8	0.0	2.8	100

職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

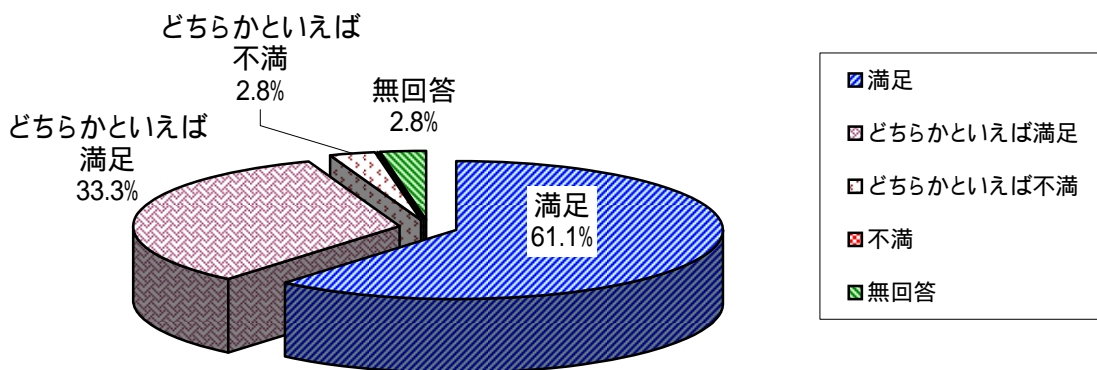


問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	61.1	33.3	2.8	0.0	2.8	100

総合満足度



## 利用者（園児）本人調査 分析

### 【ペガサス新横浜保育園】

観察調査 12月11日（木）9：10～12：30 14：00～14：10 16：00～17：50

12月17日（水）8：00～12：40

観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

#### 0、1歳児クラス

0、1歳児クラスの部屋は1階で、大きなワンルームを乳児の背の高さより低いサークルで仕切って、2部屋にしています。朝などは0歳児の部屋と一緒に遊び、全員がそろそろ、2部屋に分かれていました。それぞれの部屋には畳のコーナーがあり、その他にもマットなどでコーナーを作り、落ち着いた雰囲気を作っています。1歳児クラスは朝、畳コーナーで小さい集会をしてから散歩に行きました。給食の前や午睡の前にもみんなで集まって手遊びをしたり、絵本を読んでもらったりしています。0歳児クラスも時々みんなが集まって絵本を読んでもらいます。0、1歳児とも、絵本が大好きで、自分で絵本を持ってきて見ている姿がよく見られました。

お散歩から帰るとトイレです。0歳児クラスではオムツを取り替えてもらってから、自分でズボンをはこうとがんばる子どももいます。両足を同じところに入れてしまい、保育士が手伝おうとすると怒ります。保育士は、子どもが「ちょっと無理かな」と思うころあいを見計らって、手伝っていました。1歳児クラスの子もたちもオムツを取り替えてもらい、トイレに座ってみます。そのあとオムツではなくトレーニングパンツをはく子どももいました。一人ひとりに合った対応をしているようです。ズボンを自分で脱ぐ子ども、はく子どももいます。食事の後でもトイレに行って着替えますが、「トイレ、イヤ」「着替え、イヤ」と言う子どもたちもいます。何でも「イヤ」「イヤ」の子どもたちには、保育士がその子どもの気持ちをとらえて対応し、最後には全員がトイレに行き、トラブルなく着替えていました。

給食のときに、0歳児クラスでは眠くなった子どももいましたが、食卓と同じ所に布団を敷くので、部屋の隅のほうに寝かせ、仮眠をさせていました。0、1歳児とも、食後は歯磨きです。子どもが自分で歯ブラシを口に入れたりもしますが、保育士が仕上げをします。その子どもの好きな歌を聞いて、その歌、例えば「犬のおまわりさん」を保育士が歌いながら、そのリズムで歯磨きをしてあげていました。

#### 2～5歳児クラス

2～5歳児クラスは2階にあり、2階すべてがワンフロアの大きい保育室です。幼児の背の高さぐらいのロッカーで区切りを作って4部屋にしていますが、もちろん部屋と部屋の間にはドアはなく、4部屋というよりは大きな4つのスペースという感じです。3～5歳児は、朝夕はそれぞれの部屋にいくつかの遊びのコーナーを作り、全員がどの部屋のコーナーへも自由に行って遊んでいます。朝の集会は各クラスでやっていて、まずみんなが集まるように保育士が手遊びを始め、絵本の読み聞かせをします。そして当番が前に出てみんな朝のあいさつをします。保育士は子どもたちの名前を呼んだり、今日のお天気を聞いたり今日の予定を話したりしますが、他クラスの声で聞き取りにくく、保育士の声も大きくなりがちでした。クラスでの一斉保育は場合によって4クラス間で工夫して、あるクラスは3階へ、あるクラスは1階の図書室へ移動して遊ぶなど、落ち着いてクラス保育ができるように配慮しています。

## <2歳児クラス>

2歳児クラスは2歳児の部屋が自分たちのお城のようで、3~5歳児の縦割り保育には加わりません。窓や壁には雪の結晶や星、クリスマスの飾りなどが貼ってあり、明るい楽しい雰囲気を作っています。遊びも2歳児の部屋で、ままごとやブロック、紙などのコーナーを作っています。しかしワンフロアなので、幼児が縦割りのリズム遊びをしているときなどは、のぞいたり、まねをして体を動かしてみたり、よい刺激ももらっています。3歳児に手をつないでもらって散歩に行くこともあります。トイレ関係も、日中は全員がトレーニングパンツをはいて自立してきました。大きい子どもたちに刺激されて、幼児用のトイレにも挑戦しています。

## <幼児のリズム遊び>

3~5歳児は、行事のない時期には縦割りの散歩、縦割りのリズム遊びの日を作っています。リズム遊びは、昨年はそれぞれのクラスでやっていましたが、今年から幼児全員で一緒にするようになりました。縦割りのグループが3つあり、3つのスペースに分かれます。1つのグループは各年齢それぞれ4~6人で構成されています。リズム遊びは3つのスペースで同時に、全員一緒にしたり、年齢別にしたり、保育士たちの番になったり、ほかの人の動きを見る楽しみも作ったり、変化をつけています。子どもたちも保育士たちも、ピアノに合わせて汗を流すほど力いっぱい体を動かします。障がいのある子どもたちもリズムに乗って楽しそうに、走ったり、合図で止まったり、ジャンプやスキップをしたり踊ったりしていました。時に集団に入らずに部屋の隅で座っている子どももいて、保育士が声をかけていましたが、無理にみんなの中に入らせようとはしていませんでした。そのような子どもたちも、次の音楽になると自分から加わったりすることもありました。

## <幼児の給食・午睡準備>

給食は、3階の広いランチルームで年齢別のグループでいただきます。3歳児クラスは当番がテーブルをふき、保育士が配膳しています。4、5歳児クラスの子どもは自分で量を考えて、自分のものをよそいます。4歳児クラスでは、5月からお茶やミルクを自分でつぐようにしましたが、ごはんやパンの盛り付けもするようになり、今ではすべてを自分でよそって、こぼさずに自分の席まで運んでいます。4、5歳児はお替りも自由に取りに行って自分でよそいます。スープをよそうお玉などは、子どもが無理なく使えるように、軽量の小さめのものを用意しています。子どもたちは慎重によそって、両手でしっかり持って運んでいました。食事中は気持ちも開放されるのか、大声でふざけながら食べる子どもたちもいて、時に担任から注意されていました。

食事の終わった子どもは歯磨き、そして着替えです。ランチルームの食卓から離れたところに、保育士がマットなどで、着替えコーナーと遊びコーナーをクラス別に作ります。3歳児クラスの保育士は1人が着替えコーナーについて、できないところを手伝っていました。4、5歳児は着替え、トイレとも自立していて、ボタンかけなどを互いに手伝う姿もありますが、寝巻き袋を投げ合って遊び出す子どもたちもいてにぎやかです。子どもたちが食事や着替えをしている間に、保育士が2階で布団を敷いて午睡の準備をしていました。

## まとめ

子どもたちは元気がよく、また、全クラスの子どもたちは共通して絵本が好きで、1人で、また2、3人で熱心に絵本を見る姿がよく見られました。幼児は好きなコーナーの遊びに集中し、組み立て途中のブロックなどは片付けのときにも壊さずに、ロッカーの上などに大切に置いて、「続きはまたやるんだよ」と話してくれました。子どもの気持ちが大切にされているようです。異年齢の子どもたちとのつながりもあり、保育士も縦割り保育をしているので、ほかのクラスの子どものこともよく把握しています。生活習慣は年齢に従って自立していました。

## 事業者コメント【ペガサス新横浜保育園】

### 第三者評価を受けて

今回第三者評価を受審するにあたり、まったくの手探り状態からはじまりました。全職員参加ということで常勤職員だけでなく、非常勤職員も加わっての自己評価という点では正直、時間を作って話し合っていくという作業は大変でした。でもこの作業を行っていくうちに職員同士の絆が深まったように思います。

保育の内容はもちろん、環境設定、安全管理などを話し合っているうちに、わかっているつもりや、暗黙の了解で済まされているもの、同じ見解のはずが少しずつずれていたものなど穴が見えてきて、日ごろの保育の見直しをするにはとてもよい機会を与えてもらったと思います。

保護者からのアンケートも真摯に受け止め、職員で話し合う機会を与えてもらいました。

この評価結果をもとに、今後も保護者の方と協力しあいながらよりよい保育園を目指していきたいと  
思います。

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るすることができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.k-daisansyahyouka.org/>

---

特定非営利活動法人



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま 評価事業部

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目26番地 洋服会館2階

TEL:045-222-6501

FAX:045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>

---